

調査結果の分析

学力・学習状況調査 平成25年度平均正答率

早島町標準学力調査

	国語		算数	
	基礎	活用	基礎	活用
早島小学校5年	▼	▼	▽	▽

全国平均に対して、

◎・・・上回る

○・・・やや上回る

≒・・・ほぼ同じ

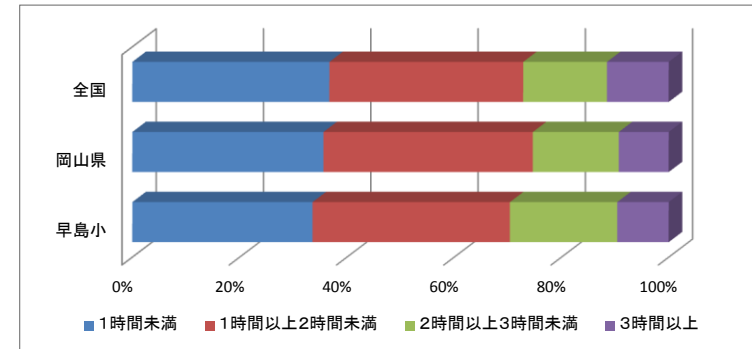
▽・・・やや下回る

▼・・・下回る

全国学力・学習状況調査

	国語		算数	
	基礎	活用	基礎	活用
早島小学校6年	○	○	≒	≒

全国学力・学習状況調査 平日の家庭学習時間



学力学習状況調査において明らかになった課題

- 6年生の全国調査の平均正答率は、算数Aをのぞき国や岡山県の平均を上回った。算数では基礎的な分野の習得が不十分である。
- 5年生の県調査においては、各教科とも国の平均を下回った。基礎学力の定着と、知識を活用する力の育成が急務である。
- 家庭での学習時間は国平均や岡山県の平均を上回っているが、発達段階における家庭学習の時間確保や宿題等の内容検討が必要である。

	平成25年度 6年生			
	1時間未満	1～2時間	2～3時間	3時間以上
早島小	33.6	36.8	20	9.6
岡山県	35.6	39	16	9.3
全国	36.7	36.1	15.6	11.5

重点課題

- 基礎学力の補充
- 「わかった、できた、友達と学習できて良かった」と思える授業の構築
- 指導力の向上
- 活用型の問題への苦手意識の克服
- 家庭での学習時間の確保

重点課題に対応した改善方法

- 朝のモジュールタイムを有効に使うなどして、各単元毎の復習プリントや学習たしかめシートに取り組むことで、基礎学力の定着を図る。
- 児童にゴール地点を明確にしたためあてを提示することや、対話等を取り入れた言語活動の充実を図る。
- 教材研究を充実させ、わかる授業を構築する。また、職員会議や校内研修会等の5分から10分間を利用し、過去問題の指導ポイントについての研修に取り組む。
- 5年生を中心に、学力・学習状況調査の問題に取り組む。
- 家庭での予習・復習、また、宿題のあり方等についても協議していく。学習時間の確保についてもお願いしていく。

取組の検証方法及び検証時期

- 5年生・6年生に学力学習調査のテストの実施(11月中)をし、自己採点させる。
- 校内研修会等での協議(随時)
- 教育課程での検証(11月中)
- 児童アンケート(11月中)
- 職員アンケート

達成目標(数値目標)

- 自分の成績よりも20%以上アップの成績をとれる。
- 月に1回程度は、指導力アップのためのワンポイントレッスンを開く。
- 児童アンケートにより、家庭学習の充実が図れる。